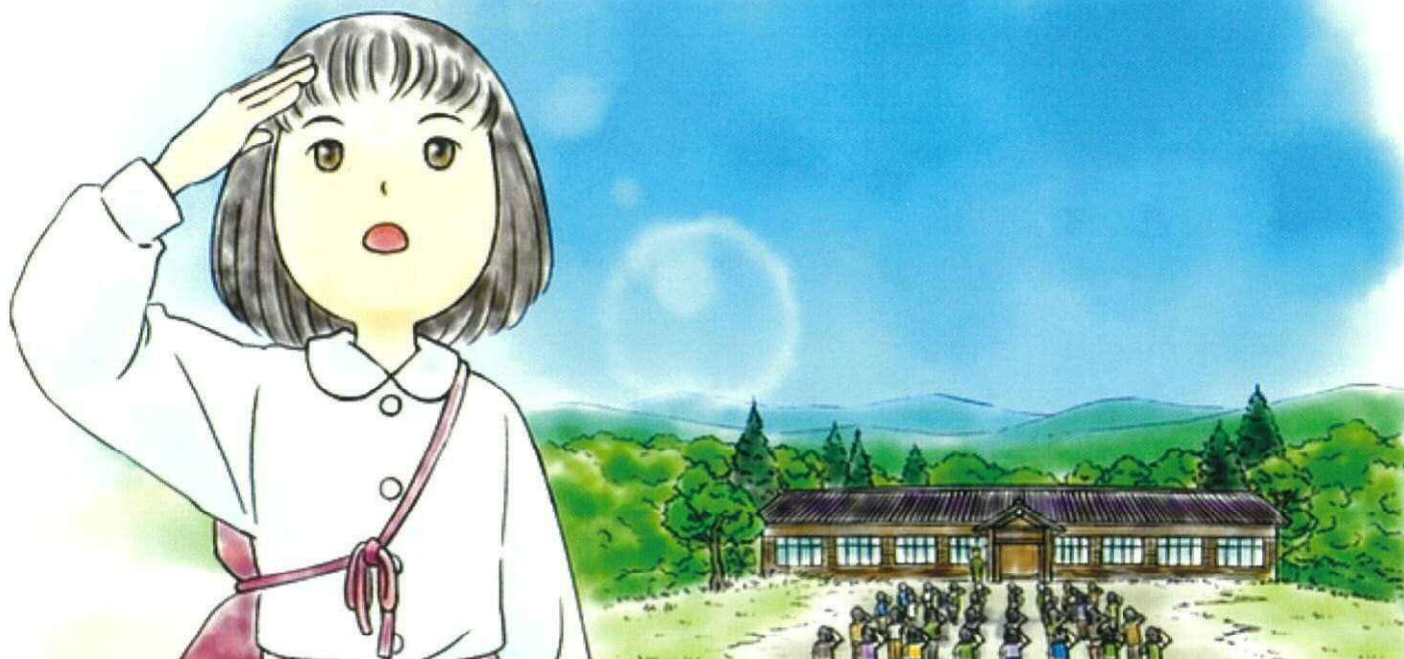


原爆被爆体験DVD

忘れてはならない夏がある



広島・長崎で被爆し、現在は尼崎市で暮らす原子爆弾被爆者の
体験を映像作品化しました。

「もう二度と被爆者を作りたくない」

「若い人たちに戦争の悲惨さを知ってほしい」

そんな思いから、思い出すのもつらい70年前の体験を語っています。

平和への願いが、後世へ継承されることを願って・・・。



企画・制作 平和への願い継承事業実行委員会

この事業は、あまがさきチャレンジまちづくり事業（あまらぶチャレンジ事業）の助成を受けています。

作品内容

1 本編 33分 (字幕あり/なし 選択できます)

もう二度とこんなつらい思いをすることがないように…。
尼崎市在住の二人の被爆者の語りを中心に、イラストや資料映像を交えながら
忘れてはならない夏の記憶を辿ります。

2 紙芝居 (字幕あり)

- * 11歳の夏 15分
お母さんに会いたい。お母さん！泣きながら市内をさまよったあの日。(広島)
- * 水がほしい 12分
「お兄ちゃん、水がほしい」 弟の最後の願いも叶えてあげられませんでした。(広島)
- * その日から 14分
婦女子は米軍から逃げるよう通告され、着の身着のまま貨車に乗り…。(長崎)

ご覧になりたい方は、ご連絡ください！

貸出を行うほか、複写のご相談に応じます。
また、収録しきれなかったインタビュー・ロングバージョンのDVDも、ご希望の方に貸し出します。



地域、団体等での上映会にご利用ください！

プロジェクターの貸出など、開催にあたっての
支援も行います。ご相談ください。

語り部活動も行っています！

被爆者本人による語り部活動も行っています。
当時のお話を直接お聴きいただけます。

平和への願い継承事業実行委員会

〒660-8501

尼崎市東七松町1-23-1

(公社) 尼崎人権啓発協会内

TEL : 06-6489-6815 Fax : 06-6489-6818

知れば知るほど「あまがすき」♥

